

スタンドルーペの虚像位置測定法 ー遠点を利用した測定ー

方法 遠点をプラスレンズで制御し、虚像の位置と遠点が一致する点を探す。

手順

- 1 近点測定器（石原・大塚式）で遠点を測定する。
- 2 遠点が 15cm 程度になるプラスレンズを眼前に手で固定し、スタンドルーペを覗く。視票は遠点測定に使用したものを使う。
- 3 視票がぼけていたら、視票に焦点が合うまでプラスレンズを徐々に減らす（マイナスレンズを増やす）。
- 4 最初に焦点（遠点）が合ったレンズ度数から虚像までの距離を計算する。

留意事項

- 1 焦点が合ったと自覚した時に、眼をスタンドルーペから離しても像がぼけない時は、すでに遠点を超えていると考えられる。
- 2 ライト付きルーペの虚像を測定する時は、ライトは消した状態で行う。ライトを付けた状態で行うと、縮瞳し、焦点深度が深くなる。（見かけ上の虚像までの距離が近くなる。）



Fig 1 近点測定器（石原・大塚式）

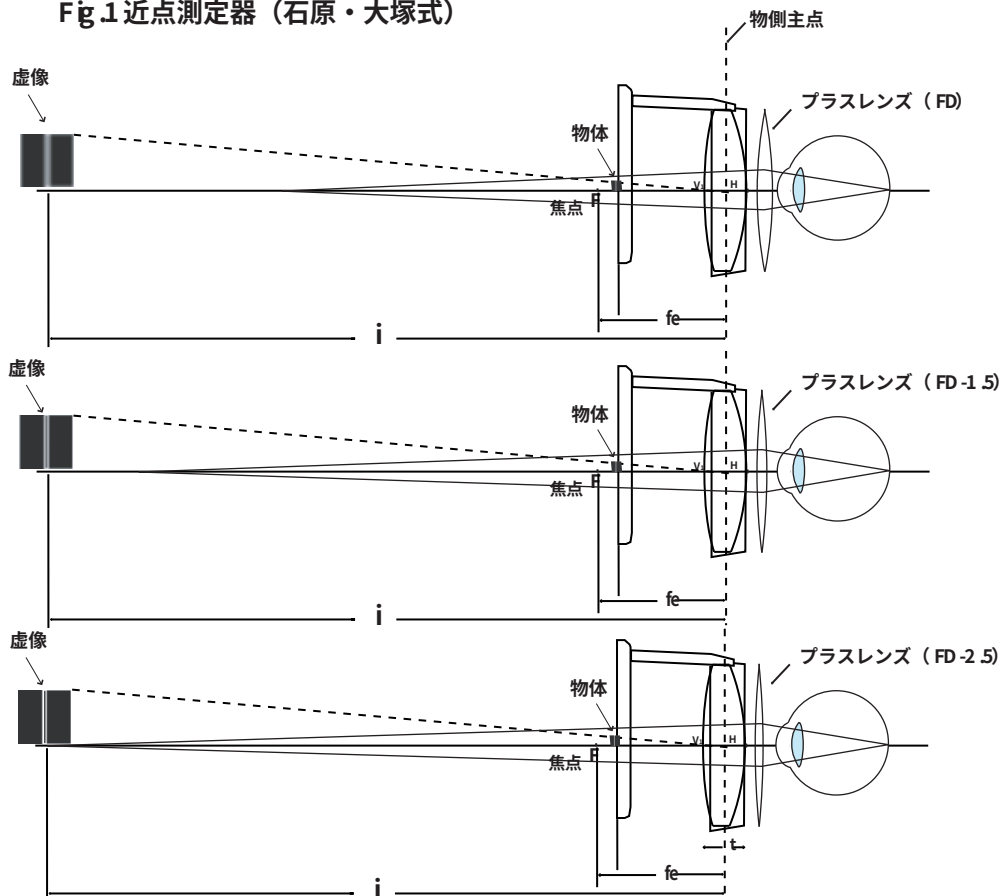


Fig 3 虚像位置測定方法の模式図

手順で遠点を 15 cm に設定した理由は、一般的なスタンドルーペなら、虚像の位置を 15 cm 以内に設定していることはないと考えられるためである。

虚像の位置が 15 cm だと、調節力が 7D 以上ないと、ルーペの最大倍率を得られないことになる。